

〒428-0007 島田市島581番地の14 電話：0547-46-5561 FAX：0547-46-5566

ホームページ：<http://www.hcc-kokoro.jp/>

Eメール：w-cocoro@hcc-kokoro.jp

新年度のスタートによせて！

あざやかな野山の緑、もうすぐ夏という季節となりました。

過日（5月19日）、当法人の平成24年度総会を開催し新年度のスタートを切ることができましたことをご報告いたします。

時代と共に福祉の考えも変わり、以前は施設や病院で手厚く保護することこそ高度なる福祉とされていましたが、今は地域でその人らしく生活することを尊重方向へシフトして参りました。つまりノーマライゼーションやユニバーサルな地域社会のことです。わが国も世界もその方向へ歩みつつあります。

当法人は志太榛原地域で、その実践団体として平成16年より活動を展開して参りました。

スタートして9年目を迎えることとなります。毎年のように事業内容も広がり、特に本年度からは牧之原市の2事業所（さがら作業所（就労継続支援B型事業）・地域活動支援センターはぐるま）も当法人と一緒にの運営をしていくこととなりました。利用される方々にとって良かったと実感できるような活動及び運営をすべく努力していく所存であり、責任を感じているところでございます。

また当法人の事業規模や活動エリアの広がりからして、これからは福祉の専門法人である社会福祉法人として活動を展開すべく、その準備を進めていきたいと考えております。

今後とも各位のご理解とご支援のほど、お願い申し上げます。

理事長 山城厚生

平成24年度に向けて！

平成21年度より給付事業を開始し、利用者のニーズに合わせ、徐々に事業内容を拡大してきました。一方、事業の拡大は支援の質の低下を招く危険性をはらんでいます。そのことを十分に自覚し、私たちは目の前にいる一人ひとりの利用者さんの声に誠実に“耳を傾け”、自分自身がすべきことを“わきまえ”、利用者さん自身の生きる力を見つけ、引き出していくことができるような“かかわり”を実践していきたいと思っております。

特に今年度は、ピア活動への取り組みとして、利用者さん自身が自らの力を発信できる機会を作り、それに向けた活動を事業ごとに利用者さんとともに実践していくこと、また昨年度から開始された利用者さん主体で実施しているWRAP（＝元気回復行動プラン）への支援を積極的に取り組んでいきたいと思っております。

常に支援者主導とならないよう、一人ひとりが主役であることを大切に、今年一年取り組んでいきます。

施設長 菅原小夜子

WRAPとは：Wellness Recovery Action Planの頭文字をとったもので、「自分が元気でいるために、自分自身が作るプラン」です。日本語では「元気回復行動プラン」といいます。

今年度より運営していく牧之原市2事業所について

牧之原市にある「さがら作業所（旧相良町）」、「地域活動支援センターはぐるま（旧榛原町）」の2事業所は、当時榛南地域にはこころの病がある方々が利用できる資源がない中、地域家族会みどり会が中心となって共同作業所として設置され、地域に根ざした活動をされてきました。

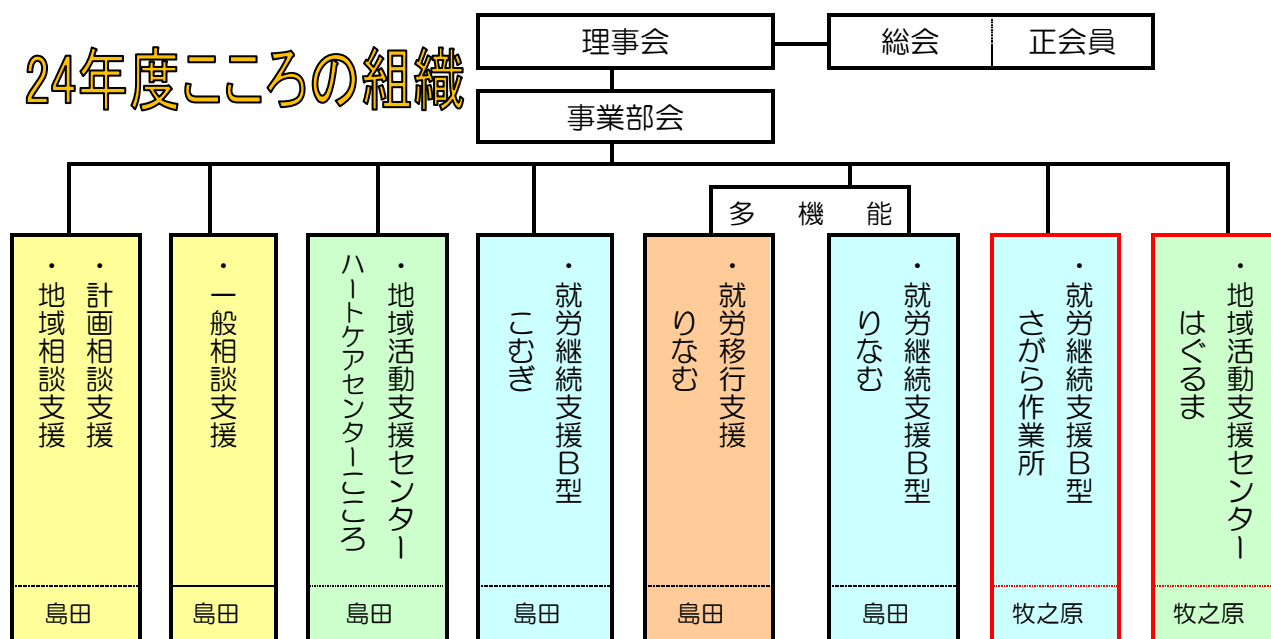
平成21年度には、障害者自立支援法の施行により「さがら作業所」は給付事業である就労継続B型事業、「はぐるま作業所」は市が設置する地域活動支援センターへと移行すると同時に、家族会から牧之原市社会福祉協議会（以下、社協）の傘下に入り、より安定的な運営が図られてきました。一方、こころの病がある方々への支援や障害者支援の制度の枠組みがめまぐるしく変わる中で、より専門的な対応や戦略が求められるようになりました。

そこで、家族会より社協に対し「精神障害者支援を専門的に展開しているNPO法人こころの指導も受けたい」との要望書が提出され、社協の理事会及び評議会において協議された結果、23年度をもって2事業所の廃止が決定し、運営を当法人が行うこととなりました。

島田市にある当法人と牧之原市にある2事業所がともに活動することによって、それぞれの事業所が積み上げてきた実績や大切にしてきた思いをさらに強固なものとし、こころの病がある人たちひとりひとりが生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

そのためには、より質の高い支援を実践できるよう、お互いの事業所の良いところを吸収しながら、大きな力強い一歩を踏み出そうと思っています。

24年度こころの組織



各事業報告：平成23年度報告と平成24年度目標

1. 相談支援事業 平成23年度：相談件数：2434件

平成23年度は島田市役所内にある相談窓口に通3日出向き、週2日ハートケアセンターこころで相談を受けました。市役所内の相談は島田市との連携が取れやすく、交通アクセスも良いので新規相談は増えましたが反面市役所という公共の場での相談のし難さの声も聞かれました。

平成24年度は計画相談支援の試行が始まり準備を進めているところです。

※ 平成24年度目標：法律改正に伴う体制づくりと相談支援の質の向上

2. 地域活動支援センター事業

1) ハートケアセンターこころ（島田市補助事業）：基礎事業＋機能強化Ⅰ型

運営が厳しく 22 年度途中より開所日を、週 6 日開所より 5 日に、また利用料も 50 円アップして運営してきましたが、法人全体の経営が少し上向きになってきたことにより利用料を平成 24 年 1 月から元の 100 円に戻すことができました。しかし、島田市の補助額だけでは運営は相変わらず厳しいのが現状です。

利用の仕方は人それぞれで、毎日利用の方、週に 1 回～2 回の方、年に数回の方様々です。しかし、回数が重要ではなく、利用できる場所があることや、どのような利用を希望するのか等、地域のニーズ、ひとりひとりのニーズに合わせた支援を大切にしています。ゆっくり過ごせる、じっくり話せる、新しいチャレンジができるなど、一人ひとりの力を活かしながら、ランチづくり、各種クラブ活動等をとおして、パワーレス状態から少しずつパワーが充電される場所でもあります。

平成 24 年度は、今までのかわりを大切にしながら、さらに「場」としての機能の充実を目指したいと思います。



干支見学



ケーキ作り



初詣

平成 23 年度地域活動支援センター事業実績（利用登録者 117 人）

	利用者	創作・生産	社会交流	普及啓発	他
活動日数(日)	245	41	245	34	
延対象者数(人)	9,658	357	6,019	822	2,460

※ 平成 24 年度目標：

- ① ピア活動支援 ② 登録者数のアップ ③ 地域とのつながりを深める

2) 地域活動支援センターはぐるま（牧之原市補助事業）：基礎事業

平成 24 年度より NPO 法人こころの仲間になりました。宜しくお願いします。

※ 平成 24 年度目標：25 年度に機能強化Ⅱ型を目指した体制づくり

3. 就労移行支援事業

1) りなむ（ワークセンターこむぎより名称変更）

平成 23 年度延べ利用者数：1,789 人／年

前年度スタートの石けん製造・販売および喫茶コーナーでの接客と調理、施設外での作業、下請作業などの訓練の場において、働くことの喜びや苦しみを日々体験しながら就職を目指しています。

金谷本町の朝夕の出勤、帰宅の人々の流れ、日中のさまざまな仕事を見ることができ環境は社会人として生きていく未来を思い描くための大きな力となっています。なお、「りなむ」は麻糸(リネン)を採る植物の名前です。たくさんの方の思いを紡ぐ事業所でありたいと思います。

※ 平成 24 年度目標：就労を目指した日々の作業と実習の充実



りなむ



石けん包装作業

4. 就労継続支援B型事業

1)いなむ

平成 24 年度より就労移行支援事業との多機能事業としてスタートしました。ベーカリー・うえるでパンやお菓子の製造・販売と「いなむ」での下請作業を主に仕事としていきます。自分達がつくったパンを通じてたくさんの方々と交流ができることは社会人としての自信と誇りにつながっています。

※ 平成 24 年度目標：私らしい幸福な毎日（well-being）



こむぎ軽作業

2)こむぎ（ワークセンターこむぎより名称変更）

平成 23 年度延べ利用者数：2,084 人／年

23 年 3 月は登録者が 3 人でしたが、23 年 4 月に活動場所をハートケアセンターこころに移したこともあり 24 年 3 月の登録者は 21 人となり 24 年度より定員を 20 人に変更しました。仕事も当初は薄かったのですが色々な方の支えもあり少しずつ増えてきました。特に 2 月、3 月は市福祉課からの防災旗作業の依頼、県からのウッドピンチ作りが重なり忙しい月となりました。4 月には新入職員が入り顔ぶれも変わりましたが一人ひとりの夢や希望を大切に、自分らしく生活できるよう支援して、利用者が笑顔で通所できるようにしていきたいと思います。



こむぎ蕎麦収穫

※ 平成 24 年度目標：安定した仕事量の確保と工賃アップ



防災旗作業

3)さから作業所

さから作業所が開設されて 19 年目の今年、「こころ」の事業所として新たなスタートをしました。さから作業所は、今まで地域の皆様に支えられて活動してきました。ボランティア・ご近所の方々、そして地域の事業所同士の協力関係も心強いものでした。今後もこのような地域に根ざした活動を続けながら、こころの理念である『個の尊重』『人権の擁護(尊厳)』『自己決定の尊重』の精神を大切にして、利用者が生き生きと通所できる事業所に、そして障害がある人もない人も安心して暮らせる地域になるように、事業所でできることから頑張っていきたいと思いません。

※ 平成 24 年度目標：

- ・ 利用者一人ひとりの強みに着目し自信を持つ、そして自信を持って自分の気持ちを声に出していく。
- ・ 地震防災マニュアルの見直しと、建物の耐震対策について具体的な検討に入る。

平成 24 年度総会

5 月 19 日正会員に出席していただき総会を開催し、提案の 4 議案は全て承認となりました。

なお、総会終了後、施設長より「自立支援協議会の機能と役割～私たちの声を届けるために～」の題目で約 1 時間セミナーを開催しました。



総会写真

平成 24 年度 特定非営利活動法人 ころも事業計画

- 1) 牧之原市内の2事業所との順調な一体化運営
 - ① 各事業所の強みを互いに認めあい、活かした運営
 - ② 機能強化事業Ⅱ型を目指した地域活動支援センターはぐるまの運営
- 2) 社会福祉法人設立の推進
- 3) 災害対応の体制づくり
 - ① 各事業所の地震防災対策の見直し
 - ② さがら作業所の耐震対策の具体的検討

事業名	事業所	内容		備考
1) 相談支援事業	ハートケアセンター ころも	給付事業	計画相談 地域移行・地域定着	指定特定相談 指定一般相談
		島田市委託事業	個別相談	一般相談
			自立支援協議会、家族会等	
川根本町委託事業	個別相談、わかあゆ会等			
2) 地域活動支援事業	ハートケアセンター ころも 島田市補助	創作活動及び生産活動の提供 社会との交流の促進業務 日常生活に必要な便宜を提供する 医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化 地域ボランティア育成 啓発普及等の事業に関する業務 当事者活動（WRAP活動）支援		
	はぐるま 牧之原市 補助	創作活動及び生産活動の提供 社会との交流の促進業務 日常生活に必要な便宜を提供する 自主活動の育成		
3) 就労移行支援事業	りなむ	石鹸作り、喫茶店での接客、下請け作業、施設外就労、施設外支援、連絡調整会議、ケア会議等		定員 10 人
4) 就労継続支援B型事業	こむぎ	自主製品制作・販売、下請け作業、廃品回収、草取り作業、農作業、縫製作業、ポストイング、連絡調整会議、ケア会議等		定員 20 人
	りなむ	パンの製造販売、下請け作業、施設外支援、連絡調整会議、ケア会議等		定員 10 人
	さがら 作業所	自主製品制作・販売、下請け作業、廃品回収、喫茶店での接客、外部施設での清掃作業、連絡調整会議、ケア会議等		定員 20 人
5) 普及啓発及び教育事業	法人事業	夏祭り、もちつき大会、セミナー等 広報誌（ころも通信・法人通信）、スタッフ研修		
6) 目的推進事業	ハートケアセンター ころも	給付・委託事業以外の相談事業 メンタルヘルス事業		

平成24年1月～5月のイベント報告

2012 ころと福祉のセミナー「“まち”を元気に！パート2」

1月22日に金谷の夢づくり会館で 株式会社 生活の木 専務取締役 宇田川僚一 氏を講師に迎え開催しました。一般住民の方々を中心に障害者、福祉、行政関係者など約210名が参加し、講師からは ① 地域の強み発見、展開と弱みを強みへ転換すること、② 停滞は陳腐化の始まり、③ 仕事は障害者が参画できるような工夫が必要 ～いいことすればいいんだよ～等様々な取り組みを紹介しながらマーケティングについてのお話があり、福祉が市場で戦える経営力をつけていくための多くのヒントが得られた時間でした。講演終了後、多数の来場者が会場近くにある「ハートケアセンターころ」に来ていただき、施設見学と手作り品を購入していただきました。



セミナー会場



施設見学

24年度の主なイベント予定

※ 紫陽花見学と法人内交流会	6月20日： 牧之原市秋葉公園	詳細は後日、ころ通信、ホームページ等に掲載します。
※ 夏祭り	8月18日： ハートケアセンター	
※ ころの健康づくり講演会	11月下旬： 夢づくり会館（予定）	
※ もちつき大会	12月15日： ハートケアセンター	
※ セミナー+いいこと発表会	1月26日： 未定	

助成ありがとうございました。平成24年1月～5月分

順不同・敬称略


※ ノートパソコンの寄贈

認定NPO法人イーパーツよりリユースノートパソコンを2台寄贈していただきました。現在、「りなむ」と「こむぎ」の作業データ集計、作業計画表作成等に大活躍中です。



寄付金ありがとうございました。平成24年1月～5月分

順不同・敬称略

羽深 剛	マルハン島田店従業員一同 従業員が自動販売機でジュース 等購入時の募金積立金より	贈呈式	
杉浦寛次			
鈴木三千子			

賛助金ありがとうございました。平成24年1月～5月分

順不同・敬称略

中村真理子	(株)オーイシ	中川正彦	鈴木勝
杉浦不史子	(有)児玉産業	森佳久	
アクトホーム(株)	(株)増商	長坂和則	
あかりディサービス宮川	牧野高彦	池田亭司	

寄付と外注作業紹介のお願い

- 1) 石鹸、洗剤、タオルなどの日用消耗品と調味料・食材
- 2) 夏祭り・もちつき大会のバザーで販売する品物
- 3) 就労継続支援B型事業は安定して継続できる仕事をご紹介ください。
・草取り作業、袋つめ作業、シール貼り作業、部品組立てなどの軽作業
- 4) アルミ缶・古紙（ダンボール、新聞紙、雑誌、雑紙）の提供

賛助会員募集！！

特定非営利活動法人 ころは、島田市島に拠点を置き、誰もが地域で安心して生活ができる街づくりを目指して、『ころはの健康、明るい地域』をモットーとし、『個の尊厳』『人権の擁護』『自己決定の尊重』の精神を大切に、精神保健福祉・障害者福祉活動に取り組んでいます。

ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

詳細は電話(0547-46-5561：担当 岡野)にてお問合せください。